

とも
たの
偕に楽しむ

- 特集号 -

大名庭園サミット～大名庭園民間交流協議会のあゆみ～

会員や一般の方に「大名庭園サミット」を広く知っていただくために、急きよ今まで開催された大会概要をまとめ特集号として発行します。10月26日開催された金沢交流大会を機に、これまで、交流を続けてきた旧大名ゆかりの庭園を愛する五つの民間団体は、「大名庭園民間交流会」を結成しました。交流を重ねるごとに参加団体が増え、現在10団体となり、今年は水戸・東京大会を水戸で開催する運びとなりました。第13回水戸・東京大会を成功に導くために、皆様方の多大なるご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

第1回	2006年	金沢兼六園	第 8回	2013年	会津御薬園
第2回	2007年	岡山後楽園	第 9回	2014年	福井養浩館庭園
第3回	2008年	水戸偕楽園	第10回	2015年	金沢兼六園
第4回	2009年	東京小石川後楽園			※2016年は、開催予定地の熊本大震災のため中止
第5回	2010年	高松栗林公園	第11回	2017年	岡山後楽園
第6回	2011年	彦根玄宮園庭園	第12回	2018年	熊本水前寺成趣園公園
第7回	2012年	広島縮景園	第13回	2019年	偕楽園・小石川後楽園(予定)

第1回 金沢大会 (2006年)

第1回記念大会は、2006年10月26日、27日、大名庭園に関わる五つの団体(金沢・岡山・水戸・東京・高松)が民間交流協議会を結成し、その第一歩のサミットになります。記念講演では、当時農業大学教授の進士五十八氏による「大名庭園から学ぶもの(美しいまちづくりを希求して)」講演があり、造園における様々な要素がまちづくりに活かせるというお話は景観を学ぶ上で大変興味あるものでした。



サミットに参加した黄門様一行

「大名庭園の価値に向き合おう」～庭園を愛する人の輪を広げよう～をテーマにパネルディスカッションが行われ、初代和田会長は、偕楽園の良さを要領よく鮮明に発信され、参加された皆さんに強い印象を与えるました。

第2回 岡山大会 (2007年)

10月5日、6日と岡山で開催されました。シンポジウムは「大名庭園の暮らしと文化」というテーマで各団体代表の発表があり、大槻副会長が湊副会長扮する黄門様と一緒に、偕楽園公園の概要とまちづくりの展望を発表しました。懇親会のガイドコンテストでは、黄門漫遊一座



岡山城

ガイドコンテストで案内する
湊黄門様

のメンバーと他の有志が偕楽園の魅力と見どころを紹介し、喝采を浴びたことは言うまでもありません。岡山後楽園は、川の中州にあり、高台・流れ・樹木・芝生・田畠を田舎のジオラマ風に造り、一画に屋敷や能舞台を設えてあり、偕楽園の自然を活かした造園とは対照的な印象を受けました。見上げると黒塗りのカラス城と呼ばれる岡山城が美しく輝いて見えました。2日目のエクスカーションは能の鑑賞はじめ、史跡廻りツアーと多彩でした。

第3回 水戸大会 (2008年)

仲秋の名月に因んで萩まつりの最中、9月14日、15日開催。テーマを「大名庭園と茶の湯文化」とし、県立歴史館講堂において橋本県知事・加藤水戸市長をお招きし開催されました。パネルディスカッションでは各代表が各庭園の多様な茶の湯との関わりが報告されました。

また午後の偕楽園の野点茶会では、参加者が自由に茶会に参加し、偕楽園の秋の風情とお抹茶を堪能しました。夜の懇親交流会では、三の丸ホテルにおいて黄門漫遊一座、梅大使が出迎え、地産料理と地酒を楽しみながら交流し、最後に「ああ人生に涙あり」の曲に合わせ全員で踊り会場が盛り上がりいました。



第4回 東京小石川後楽園大会 (2009年)

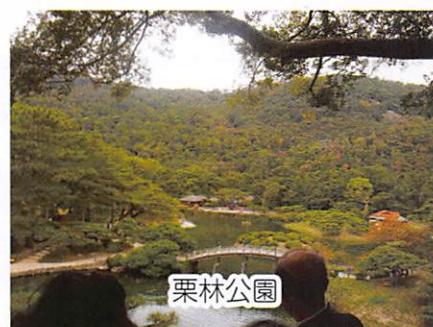
大名庭園サミット東京大会は、テーマを「水の文化と庭園」～水と緑を活かしたまちづくり～と題して10月23日、24日開催されました。小石川後楽園文京シビックホールに於いて、基調講演・パネルディスカッションが行われました。自然を生かしたまちづくりは偕楽園にも採り入れられ活かされていると和田会長はその詳細について述べられました。夜の交流懇親会に由美かおるさんが駆けつけて下さり会場は華やかになりました。



小石川後楽園は水戸徳川家の上屋敷に造園された回遊式庭園で、初代頼房公を引き継ぎ2代光圀公が明の遺臣朱舜水の影響を受け、中国趣味を取り入れたお庭になっています。

第5回 高松大会 (2010年)

香川県高松市におけるサミットは、栗林公園ガイドクラブ主催によるもので、11月22日、23日に開催され、水戸から30名参加しました。テーマを「大名庭園の樹木と保存」とし、基調講演・シンポジウムが行われました。



基調講演は、香川大学工学部の増田卓朗教授が「庭園景観の保全」の題で、栗林公園の景観の歴史と現状を、樹木の管理維持の観点から講演されました。シンポジウムでは初め飢餓に備え栗を植えたが、幕末には切り払われ松に替えられたこと。松の枯死が進んでいる事などが報告されました。翌日はボランティアガイドで公園内を見学しましたが、驚いたのは小学生のガイド班が、要所々々に4人一組で立ち案内してくれたことです。郷土を知りおもてなしの心を育む教育は素晴らしい！

第6回 彦根大会 (2011年)

に、11月27日、28日の2日間、滋賀県彦根市に於いて開催されました。城門へ近づくと物々しい発砲音と砲煙が一同を出迎えてくれました。彦根城は、防御に備えた独特の造りと赤揃え甲冑の火縄銃の鉄砲隊の勇壮なお出迎えに参加者27名は驚かされました。大会とシンポジウムは、彦根城の博物館の能舞台で開かれました。夕暮れ、玄宮園の紅葉がライトアップされて水に映り、闇に浮かび上がる幽玄の世界に一行は息をのみました。NHKの大河ドラマ「お江」のふるさと巡りをテーマにしたエクスカーションが売りでした。

「大名庭園の保存整備
(池泉の整備)」をテーマ



ガイドさんと玄宮園・
彦根城をバックに

第7回 広島大会 (2012年)

11月18日、19日に広島の「縮景園」を対象に「大名庭園の環境整備(景観の保存)」をテーマに開催されました。(19名参加)縮景園は原爆でほぼ壊滅し、戦後再建した庭園ですが、名前の通り、中国西湖の蘇堤を模した跨虹橋で有名です。大会とシンポジウムは広島県立美術館の講堂で開かれましたが、二つの庭園に絞って報告・討論されました。エクスカーションは、呉市の海事歴史科学館(大和ミュージアム)視察コースと安芸の宮島コースに分かれ行われました。NHK大河ドラマ「平清盛」の舞台となった安芸の宮島は紅葉の時期とあって沢山の観光客でした。お土産に本場のもみじ饅頭を買い求め、味覚でも紅葉を大いに堪能しました。



第8回 会津大会 (2013年)



10月6日、7日会津若松市の「御薬園」で「歴史的資産としての大名庭園の継承」をテーマに開催されました。当会から20名が参加しましたが、大河ドラマ「八重の桜」の放映中でもあり、行く先々の賑わいは大変なものでした。6日に講演会とシンポジウム、鶴ヶ城と御薬園見学、懇親会に参加し、7日に歴代藩主の廟所に参拝し、白虎隊の最後の地、飯盛山を見学、お墓に参拝しました。ガイドの方の話から幕末会津藩の無念の思いがうかがい知りました。

鶴ヶ城の東に隣接して、中央に心字の池を配した回遊式の借景園と各種薬草を栽培する薬草園が御薬園の名の由来になっています。

第9回 福井大会 (2014年)

大会は、11月9日、10日福井県国際交流会館において「大名庭園を活かした歴史文化のまちづくり」をテーマに開催されました。午前中養浩館庭園を散策し、歴史博物館を見学。2日目は、一乗谷朝倉氏遺跡を見学しました。その後越前松平家墓所大安禅寺を参拝しました。湊会長以下有志で、大会の時に是非訪れ参拝したいと思っていた敦賀の松原神社に立ち寄り、武田耕雲斎率いる「天狗党」の志士たちの御靈に鎮魂のお抹茶を捧げました。



お抹茶を献げる湊会長



サミット風景

第10回 金沢大会 (2015年) 2回目

11月19日、20日 2巡目となる金沢市で開催されました。当会から33名という今までにない参加者があり、北陸新幹線開通の影響はここにも表れているようです。茨城県・水戸市の行政関係者の方の参加が8名ありました。この大会で世界遺産登録を目指そうと提言されました。大会テーマは「大名庭園の価値を伝えよう」基調講演「大名庭園の価値と活用～庭園からのふるさと創造～」の中で、進士五十八氏(当民間交流会顧問)その個性の集合体で地球の持続性を支える。大名庭園を応用した大きな規模のまちづくりを実践しよう。



第11回 岡山大会 (2017年) 2回目

10月26日、27日に亘り第2回目となる岡山大会が開催され、当会から11名が参加しました。岡山県医師会館を会場とし、第一部 内閣官房参与の加藤康子氏の「大名庭園を世界の遺産に」～世界遺産・日本遺産の提言に向けて～というテーマで基調講演がありました。内容は世界遺産登録を実現させたご苦労・内情をお話になりました。

第2回の大会でしたが、特別公開中の藩主が寛いだ建物「延養亭」の居間からの庭園の眺め、回遊式園内を散策。その後天空の城・備中松山城の急坂をのぼり、天空から城下町を見渡しました。



第12回 熊本大会 (2018年)

熊本大会は2016年発生した大地震は熊本城はもとより、県内に大きな被害を及ぼしました。もちろん天守閣や石垣や櫓は無残にも破壊され近寄ることも出来ず、遠くの修復中の天守閣をバックに記念撮影をしました。水前寺成趣園を持つ熊本市で「大名庭園を世界遺産に」のテーマで震災後2年を経た2018年の開催になりました。人気者くまモンに迎えられ会場には観光庁観光資源課の課長英浩道氏が政府の観光政策などを基調講演。大学や専門家・イコモス関係者などの観光に対する見解と提言が出されました。世界遺産への高まりが感じられました。

13日は阿蘇の伏流水を取り入れた回遊式庭園「水前寺城成趣園」を見学しました。

